

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【作業学習】

1. 対象 特別支援学校 中学部1～3年生

2. 単元名 「中学部の友達のために、ふじ香を作ろう！～喜んでもらえる製品を作ろう～」(全18時間)

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・質の良い紙(表面がなめらか、しわがない)を作るために、ローラーを隅々まで動かして水気をとったり、スポンジをしっかりと押しえたりすることができる。
思考力, 判断力, 表現力等	・質の良い製品を作るためのポイントが分かり、見本と比べたり、手順を確認したりすることができる。
学びに向かう力, 人間性等	・中学部の友達のために納品することが分かり、喜んでもらえる製品を作ろうとしている。

4. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

友達のために、喜んでもらえる紙を作りたい。
どうしたらきれいな紙(表面がなめらか、しわがない)ができるんだろう。

考えるための材料

- ①良品(表面がなめらか、厚さが薄い)と、質の悪い(表面がでこぼこ、厚さが厚い)紙の見本を用意し、どちらのほう喜んでもらえるのか考える時間を設ける。
- ②自分がこれまで作った紙すきを見直す時間を設ける。
- ③日誌を活用しながら、「喜んでもらえるためのポイント」を確認する時間を設ける。

想定される活動

- ①良品の方がきれいなので、喜んでもらえそう。
どうしたらしわがない紙ができるんだろう。
どうしたら表面が滑らかになるんだろう。
- ②しわがある部分があることに気付く。
しわがあると喜んでもらえない。
きれいな紙だけを製品にしないといけない。
- ③ローラーを10回隅々まで動かそう。
ひっくり返すときは、慎重にゆっくりひっくり返そう。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

- ・製品を作りながら、どの工程がポイントになるのかを教師や友達と一緒に考える。
 - …ローラーをしっかりとあてた方がしわが無くなるのではないか。
 - ローラーで水気をしっかりとらないと、紙が厚くなることに気付く。
 - ローラーを隅々まで動かさないと、表面がでこぼこになることに気付く。
 - スポンジをひっくり返す工程を気を付けないと、しわができてしまうことに気付く。
 - スポンジをしっかりと押しえながら、ゆっくりとひっくり返すことが大切だと気付く。
- 水気をとる工程では、①ローラー10回動かす、②ゆっくりとひっくり返す、をポイントにしよう。
- ・仕上がった紙を、良品のチェックポイント表で検品をした後、良品だった紙だけを次の工程の友達に届ける。
 - …検品してしわがない、穴が空いていないので製品にすることができる。

きれいな紙なので次の工程の友達に依頼しよう。

- ・初めのミーティングで、喜んでもらえる製品のポイントを確認する。
 - ・友達に納品する際には、紙がきれいに作られているのか直接アンケートをとる。
 - …紙がつるつる、滑らかできれいと言ってもらえた。
- 喜んでもらえて嬉しい。次回の納品の意欲に繋がる。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

ローラーを隔々まで10回動かして水気をとると、表面が滑らかになるんだ。

スポンジをしっかりと押しえながら、ゆっくりとひっくり返すとしわができないんだ。

きれいな紙を作ったら、喜んでもらえてうれしい。

次回の納品に向けてもきれいな紙を作りたい。